

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2006-339819(P2006-339819A)

【公開日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-049

【出願番号】特願2005-159595(P2005-159595)

【国際特許分類】

H 04 N 5/765 (2006.01)

H 04 N 5/222 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 L

H 04 N 5/222 Z

H 04 N 5/91 N

G 06 F 13/00 6 5 0 A

H 04 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月8日(2006.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マスタ装置と1以上のスレーブ装置とから成り、

上記マスタ装置と上記スレーブ装置との間での所定の通信網を経由した通信を行う通信手段と、

上記マスタ装置においてデータを記憶する第1の記憶手段と、

上記スレーブ装置においてデータを記憶する第2の記憶手段と、

上記マスタ装置において、上記第1の記憶手段に記憶されている所定の1以上のデータである編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行するために必要な情報から成る編集制御情報を、上記通信手段によりスレーブ装置に対して送信させる編集制御情報送信制御手段と、

上記マスタ装置において、上記編集制御情報送信制御手段により送信したのと同じとされる編集制御情報に基づいて、上記第1の記憶手段に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して得られるマスタ装置側の再生出力と、上記スレーブ装置において、上記編集制御情報送信制御手段により送信されたのに応じて受信した上記編集制御情報に基づいて、上記第2の記憶手段に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して得られるスレーブ装置側の再生出力とが、再生時間的に同期するようにして出力されるようにする同期手段と、

を備えることを特徴とする再生システム。

【請求項2】

スレーブとなる他の再生装置と所定の通信網を経由した通信を行う通信手段と、

データを記憶する第1の記憶手段と、

上記第1の記憶手段に記憶されている所定の1以上のデータである編集対象データについての編集再生処理を実行するために必要な情報から成る編集制御情報を、上記通信手段により上記他の再生装置に対して送信させる編集制御情報送信制御手段と、

上記編集制御情報送信制御手段により送信したのと同じとされる編集制御情報に基づいて、上記第1の記憶手段に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して再生出力する編集再生手段と、

上記編集再生手段による上記再生出力と、上記他の再生装置において、上記送信制御手段により送信されたのに応じて受信した上記編集制御情報に基づいて、この他の再生装置が有する第2の記憶手段に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して得られる再生出力とが、再生時間的に同期されるようにする同期手段と、

を備えることを特徴とする再生装置。

#### 【請求項3】

上記同期手段は、

上記編集対象データの編集再生処理の開始指示とみなされる指示情報を、上記通信手段により上記他の再生装置に対して送信させる指示情報送信制御手段をさらに備え、

上記他の再生装置が上記指示情報を受信したことに応答して送信するもので、上記編集対象データについての編集再生処理の開始の通知とみなされる通知情報を受信したのに応じて、上記編集再生手段による上記編集対象データについての編集再生処理を開始させるように構成される、

ことを特徴とする請求項2に記載の再生装置。

#### 【請求項4】

番組についての予約録画設定情報を保持する情報保持手段と、

予約録画設定情報に基づいて受信した番組のデータを上記第2の記憶手段に記憶させる予約録画動作を実行する機能を有する上記他の再生装置に対して、上記情報保持手段が保持する予約録画設定情報を、上記通信手段により送信する予約録画情報送信制御手段と、

上記情報保持手段により保持される予約録画設定情報に基づいて受信した番組のデータを、上記第1の記憶手段に記憶させる予約録画実行手段と、

を備えることを特徴とする請求項2に記載の再生装置。

#### 【請求項5】

上記編集再生手段により再生出力を実行しているときに、その再生出力についての操作入力を受け付ける操作入力手段をさらに備え、

上記編集再生手段は、上記操作入力手段が受け付けた操作入力に応じて再生出力の態様を変更するようにされるとともに、

上記同期手段は、上記操作入力手段が受け付けた操作入力に対応して、上記他の再生装置における上記編集対象データについての再生出力の態様が変更されるように制御する、  
ことを特徴とする請求項2に記載の再生装置。

#### 【請求項6】

マスターとなる他の再生装置と所定の通信網を経由した通信を行う通信手段と、

データを記憶する第2の記憶手段と、

上記通信手段により上記他の再生装置から受信したもので、編集再生処理を実行するために必要な情報から成る編集制御情報を基づいて、上記第2の記憶手段に記憶され、受信した上記編集制御情報が編集対象として指定する編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して再生出力する編集再生手段と、

上記編集再生手段による上記再生出力と、上記他の再生装置において、この他の再生装置が送信したのと同じとされる上記編集制御情報に基づいて、この他の再生装置が有する第1の記憶手段に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して得られる再生出力とが、再生時間的に同期されるようにする同期手段と、  
を備えることを特徴とする再生装置。

#### 【請求項7】

上記同期手段は、

上記編集対象データの編集再生処理の開始指示とみなされる指示情報を、上記通信手段により上記他の再生装置から受信したのに応答して、上記編集再生手段による上記編集対象データについての編集再生処理の開始の通知とみなされる通知情報を、上記通信手段により所定タイミングで上記他の再生装置に送信するように構成される、

ことを特徴とする請求項6に記載の再生装置。

【請求項8】

番組についての予約録画設定情報を保持する情報保持手段と、

上記情報保持手段により保持される予約録画設定情報に基づいて受信した番組のデータを、上記第2の記憶手段に記憶させる予約録画実行手段と、

予約録画設定情報に基づいて受信した番組のデータを上記第1の記憶手段に記憶させる予約録画動作を実行する機能を有する上記他の再生装置から、上記通信手段により送信されてきた予約録画設定情報を、上記情報保持手段に保持させる保持制御手段と、

をさらに備えることを特徴とする請求項6に記載の再生装置。

【請求項9】

上記編集再生手段により再生出力を実行しているときに、その再生出力についての操作入力を受け付ける操作入力手段をさらに備え、

上記編集再生手段は、上記操作入力手段が受け付けた操作入力に応じて再生出力の態様を変更するようにされるとともに、

上記同期手段は、上記操作入力手段が受け付けた操作入力に対応して、上記他の再生装置における上記編集対象データについての再生出力の態様が変更されるように制御する、  
ことを特徴とする請求項6に記載の再生装置。

【請求項10】

マスタ装置と1以上のスレーブ装置とから成る再生システムにおける再生方法において、

上記マスタ装置と上記スレーブ装置との間での所定の通信網を経由した通信を行う通信処理と、

上記マスタ装置において、このマスタ装置が備える第1の記憶部に記憶されている所定の1以上のデータである編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行するために必要な情報から成る編集制御情報を、上記通信処理によりスレーブ装置に対して送信させる送信制御処理と、

上記マスタ装置において、上記送信制御処理により送信したのと同じとされる編集制御情報に基づいて、上記第1の記憶部に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して得られるマスタ装置側の再生出力と、上記スレーブ装置において、上記送信制御処理により送信されたのに応じて受信した上記編集制御情報に基づいて、上記スレーブ装置が備える第2の記憶部に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行して得られるスレーブ装置側の再生出力とが、再生時間的に同期するようにして出力されるようにする同期処理と、

を実行することを特徴とする再生方法。

【請求項11】

送信装置と1以上の受信再生装置とから成り、

上記送信装置と上記受信再生装置との間での所定の通信網を経由した通信を行う通信手段と、

上記送信装置において、所定の編集対象データを編集素材として利用して編集再生処理を実行するために必要な情報から成る編集制御情報を生成する編集制御情報生成手段と、

上記受信再生装置において、データを記憶する記憶手段と、

上記送信装置において、上記編集制御情報を上記通信手段により受信再生装置に対して送信させる編集制御情報送信制御手段と、

上記受信再生装置において、上記編集制御情報送信制御手段により送信されたのに応じて受信した上記編集制御情報に基づいて、上記記憶手段に記憶されている上記編集対象デ

ータを編集素材として利用して編集再生処理を実行して再生出力する編集再生手段、  
を備えることを特徴とする再生システム。

【請求項 1 2】

送信装置との間での所定の通信網を経由した通信を行う通信手段と、  
データを記憶する記憶手段と、

上記送信装置により生成されて送信され、上記通信手段により受信されるもので、所定  
の編集対象データについての編集再生処理を実行するために必要な情報から成る編集制御  
情報に基づいて、上記記憶手段に記憶されている上記編集対象データを編集素材として利  
用して編集再生処理を実行して再生出力する編集再生手段、

を備えることを特徴とする受信再生装置。

【請求項 1 3】

受信した番組の映像音声情報を、上記データとして上記記憶部に記憶させる録画手段を  
さらに備え、

上記編集再生手段は、1以上の放送番組の映像音声情報を上記編集対象データとする上  
記編集制御情報に基づいて、上記記憶手段に記憶されている映像音声情報について編集処  
理を実行して再生出力する、

ことを特徴とする請求項12に記載の受信再生装置。

【請求項 1 4】

送信装置と、記憶部を備える1以上の受信再生装置とから成る再生システムにおける再生  
方法において、

上記送信装置と上記受信再生装置との間での所定の通信網を経由した通信を行う通信処  
理と、

上記送信装置において、所定の編集対象データ編集対象データを編集素材として利用して  
編集再生処理を実行するために必要な情報から成る編集制御情報を生成する編集制御情  
報生成処理と、

上記送信装置において、上記編集制御情報を上記通信処理により受信再生装置に対して  
送信させる編集制御情報送信制御処理と、

上記受信再生装置において、上記編集制御情報送信制御処理により送信されたのに応じて  
受信した上記編集制御情報に基づいて、上記記憶部に記憶されている上記編集対象データ  
を編集素材として利用して編集を実行して再生出力する編集再生処理、

を実行することを特徴とする再生方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

記録再生処理機能200は、映像／音声情報をから成るコンテンツデータを記録又は再生  
するための所要の処理を行う機能部位であり、ここでは、同期記録処理機能201、同期  
再生処理機能202、編集機能203、及びXML解析機能204を備える。

同期記録処理機能201は、基本機能として先ず、放送受信選局機能101により受信  
選局可能な放送番組を予約録画するための予約録画機能を備える。例えば予約録画すべき  
番組を指定、設定する操作が行われ、このことが操作入力機能104により伝達されると、  
この設定に応じて、自機において予約録画動作を実行させる。そのうえで、本実施の形  
態の同期記録処理機能201は、ネットワーク3経由で通信可能な他のAVコンテンツ記  
録再生装置1においても、自機と同じ予約録画動作が実行されるように、つまり予約録画  
動作が同期して実行されるようにするための機能部位となる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

不揮発性メモリ17は、例えばEEPROM(Electrically Erasable and Programmable Read Only Memory)やフラッシュメモリなどのようにして、データの書き換えが可能であって、電源供給が停止しても保持しているデータが消失しない性質のメモリ素子を備える記憶部位である。本実施の形態では、この不揮発性メモリ17には、主として、必要に応じて逐次書き換えが行われる各種の情報が保持される。また、CPU14が実行すべきプログラムを格納してもよい。